

Management Club Report

Jul.2023/Vol.247

Monthly Opinion 《DHの確保と給与UP問題》

2025年4月13日から半年間、大阪市最西端に位置する人工島『夢洲』で開催予定の『2025年日本国際博覧会』、公式略称『大阪・関西万博』の開催に“？”が付くような報道がなされました。海外の国・地域が出展するパビリオンのうち参加国が独自に建設する「タイプA」に関して必要な申請が1件も出ていないということです。世界的なコロナ禍の影響で中々計画を進められなかったという状況下であったこと、こここのところの資材の急騰や日本の建設業界における人手不足といったことが影響しているとのことのようにですが、いずれも直ぐに解決できない問題であるだけに心配です。

この物価高騰と人手不足問題は歯科医院においても深刻な問題となっています。歯科医院の場合は物価だけではありません、人手不足は人件費の高騰に繋がります。特に、すっかり売り手市場と化してしまった歯科衛生士の平均給与は、これまでにない“高値”をつけています。そのこと自体は歯科界の発展といった一面を描き出してもいますのでマイナス要因とばかり受け取るべきではないでしょう。

問題は収益を伸ばす努力や工夫、スタッフに我が歯科医院で働くことの意義や喜びを与えるために何をすべきか？特に高額給与を得る歯科衛生士の生産性を高めるためにはどのような方策を講じ、歯科衛生士の生産性向上意欲を更に高めるために何をすべきかが問われているのではないのでしょうか。

1

歯科医院経営を脅かす物価高と人手不足

深刻化する人手不足

現代日本における人手不足問題は、特定の業界や特定の企業に偏って起きている現象ではありません。少子高齢化が進展した結果と、社会文化的な環境変化による労働観の変化がもたらした全産業に関わるものではないかと思います。

2020年代になって社会のデジタル化が急速に進展した結果、様々な業界でDX化を目指す動きが顕著となっています。折しも全国で猛威を振るった新型コロナウイルス感染症は、人間同士の接触を避ける考え方と行動を社会全体に行き渡らせました。出勤をしないテレワークという執務スタイルが多くの企業では採用され、DX効果の一端を証明したかのような現象となりました。

そのようなことも含めDXの推進が叫ばれてきた結果、今最も人材不足に悩んでいる業界はIT業界だそうです。社会の進化に伴う新しいニーズに応えられ